

# 海外姉妹都市ラピッド市 公式訪問団との交流

くわしくは 観光交流課 ☎(21)5196



着物姿でつとてり(左から2番目がクエイカー市長)

市は、市国際交流協会と共同で、海外姉妹都市であるラピッド市アメリカ合衆国サウスダコタ州)と中学生・高校生や市民訪問団の相互派遣事業を実施しています。今回は、毎年交互に実施している市民訪問団相互派遣事業について紹介します。

## クエイカー市長を含む5名のラピッド市公式訪問団が訪問

今年度は、10月12日(日)～18日(土)の7日間、ラピッド市からサムクエイカー市長を含む5名の公式訪問団が日光市を訪れました。

ラピッド市長が日光市を訪れるのは、旧今市市と海外姉妹都市の盟約を締結した平成6年以来、20年ぶりです(締結当時はエドワード・マクラフリン市長)。

滞在期間中、5名はホームステイをしながら、市内のさまざまな場所を訪ねた。日光市長や日光市議会議員への表敬訪問の他、日光東照宮の秋季大祭で行われた流鏝馬神事や百者揃千人武者行列、華厳ノ滝、足尾銅山観光、日光江戸村、酒蔵を見学しました。また、ちようちん制作や着物の着付け体験、保育園児との交流など、盛りだくさんの日程の中で、



酒蔵で日光の地酒について勉強

日本の文化や習慣に触れる貴重な体験をしました。さらに、ホームステイを通じて、ホストファミリーとの交流を楽しみ、充実した日々を過ごしました。

10月14日(火)には市国際交流協会主催の交流会が行われ、70名以上が参加しました。

交流会では記念品を交換した後、一緒に歓談したり、写真を撮ったり、協会会員による歌の披露を楽しんだりするなどして、訪問団との友好を



園児たちと仲良く交流会

深めました。訪問団の皆さんは、日光市での滞在を終えて、「こんな美しい街に住んでいるなんて、とてもうれやましい」「日光はとても素晴らしい」「これから的人生で、日光訪問を忘れることはないだろう」「また、ぜひ日光市を訪れたい」などと感想を述べていました。

市と市国際交流協会は、今後もラピッド市との絆がさらに強まるような交流事業を継続していきます。

### 【各指標の進捗状況】※■の色付きは達成

#### イ. 歳出の抑制

##### ①職員人件費の抑制(削減指標：減額(▲)の場合は達成)※平成22年度との比較

項目	目標額	実績額	目標額とその差	目標額と実績額に差が出た理由など
職員人件費の削減	▲3億7,100万円	▲2億6,200万円 (▲3億3,800万円)	1億900万円 (3,300万円)	【未達成】 職員数については、新たな行政需要に対応するために社会福祉士など専門職を拡充しました。また、消防職員の定年退職者が多い平成26年度を見据えて前倒して採用したことから、目標値には届きませんでした。 さらに、再任用職員の増や管理職手当の削減率の回復による増などにより、目標額に比べ1億900万円、削減が進みませんでした。  ※実績額などの( )書きについて 計画策定時には考慮していなかった再任用職員の増や管理職手当の回復による増分を控除した場合、その算出額は▲3億3,800万円となり、目標額との差を3,300万円に抑えたこととなります。

##### ②経常経費の総額抑制(削減指標：減額(▲)の場合は達成)※平成24年度からの累計額

項目	目標額	実績額	目標額とその差	目標額と実績額に差が出た理由など
物件費の削減	▲2億円	7億1,700万円 (▲2億4,600万円)	9億1,700万円 (▲4,600万円)	【未達成】 新たに霧降高原キスゲ平園地・西川運動場を指定管理としたことや、クリーンセンター維持管理において包括業務委託を開始したことなどの委託料が増加したことにより、目標額に比べ9億1,700万円削減が進みませんでした。  ※実績額などの( )書きについて 計画策定時に想定した経常経費の圧縮の視点から捉えた場合、旅費・需用費・役務費などの事務的経費については、全庁的な経費節減の取り組みにより、目標額を超える2億4,600万円を削減できたこととなります。

##### ③特別会計繰出金の適正化(削減指標：減額(▲)の場合は達成)※平成22年度との比較

項目	目標額	実績額	目標額とその差	目標額と実績額に差が出た理由など
国民健康保険事業の基準外繰出金の削減	1億2,400万円	▲2,900万円	▲1億5,300万円	【達成】 平成24年度の税率改正により、所得や被保険者数の減少に伴う税収の減を最小限に止めたことや被保険者数の減少により医療費の支出が抑えられたことから、目標額に比べ1億5,300万円削減が進みました。
温泉事業の基準外繰出金の削減	▲2,600万円	▲1,500万円	1,100万円	【未達成】 燃料費の高騰や旅館廃業による加入金返還が発生したことにより、目標額に比べ1,100万円削減が進みませんでした。 今後は納付指導の強化による温泉使用料の増収、経費の削減に努めます。